

第2回平和施策のあり方懇談会 意見交換

1 戦争×学校（小・中・高生）

- ・ 体験を知る→表現する（アートの方法）
- ・ 戦争学習（戦争を知る）
- ・ 校外学習①ふるさと歴史館、②広島・長崎・沖縄旅行、③東京大空襲
- ・ 学内での戦争を題材にした映画の上映会→その後講演 etc.
- ・ （歴史の授業）4月に戦争の範囲を学習する（3学期は駆け足）
- ・ 長崎への平和交流団の継続、拡充
- ・ 戦争体験者を招いて話を聞く
- ・ 市内における戦跡の調査（調べ学習）
- ・ 戦争について始めた理由、終わった理由などをテーマに話し合う
- ・ 長期的な修学旅行へ向けての学習
- ・ VRによる戦争体験者の語り

2 戦争×社会（大人）

- ・ 戦争の遺品等の貸し出しセット（歴史館→学校）
- ・ 体験の「伝承者」の相互学習会（中高生～大人、専門家を交える）
- ・ 夏休み親子で学ぶ「戦争と平和」（武蔵野中央公園、自然文化園などで開催、フィールドワーク）
- ・ 遺品等保存のための専門的取組み
- ・ 長崎、三鷹（駅前）の男女平和像レクチャー&現地ツアー
- ・ 市内空襲に関する講座、ふるさと歴史館事業として
- ・ 大人向け研修①東大和変電所跡、②登戸研究所跡（明大）、③東京大空襲戦災資料センター
- ・ できるだけ事実を伝えることができるよう大人も学ぶ
- ・ 「平和カフェ」を町ごとに開催する
- ・ 武蔵野市にゆかりのある芸能人によるYouTube? →若い世代へのアプローチ
- ・ 武蔵野市だけでなく多摩全域にある戦争史跡巡り
- ・ 市内空襲についての歴史ガイドの育成
- ・ 街中に大型写真を掲示
- ・ 街中にプロジェクターで戦争の時代をうつしだす、街中「博物館」「歴史館」
- ・ 戦争史料のアーカイブ化

3 多文化・国際理解×学校（小・中・高生）

- ・小中高生と外国人との交流イベント（アート、食文化、おしゃべり会）
- ・お互いの「ちがい」を知ると同時に、「みとめあう」ことの大切さを知る
- ・M I Aによる講座、事業
- ・外国人を招いて交流をする
- ・各国料理の給食
- ・学校へ留学生（大学生）を招いて文化交流
- ・平和についての「ものさし」を自分の中で持つ
- ・外国から来ている子ども達と日本の学生とが一緒に何かイベントを考え、両者がどちらも楽しくなれることをする
- ・様々なメディアから情報を読みとる技術を学ぶこと

4 多文化・国際理解×社会（大人）

- ・市内在住多国人の方々との交流活動
- ・M I Aによる講座・事業
- ・在日外国人の方と一緒にボランティア→平和イベントと一緒に参加？（パネル、出店？）
- ・海外生活をしてきた方に実際の様子を語ってもらう
- ・文化交流（日本と母国）
- ・外国人市民との交流会（遊ぶ・食べる・学ぶ）
- ・英会話カフェ